

風情たつぷり根雨のまちなみと紅葉を満喫
金持開運ウォーキング



宿場町の風情を残す日野町公舎



金運・開運を願う多くの参加者の姿が

町の観光スポット・滝山神社から金運開運で人気を集める金持神社までを歩く、第11回金持開運ウォーキングが、11月10日に開かれました。

今大会では、9月に町を襲った台風24号の影響でこれまでのコースが使えなくなっただけでなく、根雨のまちなみを通り、金持神社へ向かう約5・9kmのコースに変更。大会の開催が危ぶまれたものの、当日は町内をはじめ、県内外から約

280人が参加しました。

出発前に滝山公園で安全祈願した後、リバーサイドひのからそれぞれ金持神社を目指して出発。紅葉がピークを迎えた山々や日野川、旧出雲街道の宿場町の名残を残す根雨の町並みを眺めながらウォーキングを楽しんでいる様子でした。

金持神社では、ゴールした参加者が開運を祈願する姿がみられたほか、滝山公園では、景品が当たる「開運抽選会」が開かれ、豪華景品を引き笑顔の参加者も。また、地元産品を使ったじゃぶ汁や弁当も振る舞われ、疲れた参加者の体を温めていました。

二階座敷のある町屋で県内最古
近藤家住宅が鳥取県指定保護文化財に指定



出雲街道沿いに建つ、往時をしのばせる大型の町屋建築

10月9日、近藤家住宅（根雨）が、県指定保護文化財に指定されました。今回指定されたのは、1864（元治元）年建築の主屋のほか3つの蔵など計10棟の建物および土地と、家相図などの文書類です。

近藤家住宅は、鳥取県西部の山間部における大規模町屋建築の例として重要であるほか、たたら製鉄の繁栄と共に増改築を繰り返した経緯を垣間見られる点でも歴史的価値が高いことが認められ、今回の指定となりました。また、県下では二階座敷を持つ町屋の現存最古の事例として学術的に重要な建物であることがわかりました。

新たなまちづくりへの第一歩

町内郵便局との包括的連携調印式



埴田町長（右）と根雨・黒坂郵便局長

町と日野町内の郵便局が、11月13日、日野町役場で「包括的連携に関する協定」調印式を行いました。

同協定は、住民が安心して暮らせる地域社会づくりを行うというものの。例えば、配達の際に住民に異変があったなど、異変を感じた場合口に、消防や警察などの関係機関に直接連絡し問題解決に当たります。

協定書には、子育てや女性活躍推進に関することも盛り込まれており、連携による地域活性化への期待も高まります。



トップアスリートが間近でアドバイス

国内外で活躍するソフトテニスのトップアスリートを招き、指導を行ってもらい、上達のきっかけをつかんでもらおうと、11月23日、日野高校テニスコートで、「ソフトテニス講習会in日野町」（ヨネックス株式会社協賛）が開かれました。

講師は、ヨネックス女子ソフトテニスチーム監督の松口友也さんや現役選手の黒羽祥平さん、今田瑞基さんの3人。参加した日野郡の小中学校および高校の生徒ら35人は、積極的に選手にアドバイスを求めるなど真剣な表情で練習していました。

目指せ！日野郡から全国へ世界へ

ソフトテニス講習会in日野町



西村昌敏さん「終演の刻^{とき}」（モノクロ作品）

60歳以上の健康と福祉の祭典「ねんりんピック富山2018」が、11月3日から8日まで、富山県で開かれ、「美術展・写真の部」で、西村昌敏さん（根雨）の作品が富山県知事賞を受賞しました。おめでとうございます。

今回受賞した作品は、ねう祭りでの神楽が披露された後のくつろぎの瞬間をとらえたものです。同作品は、平成29年度シニア作品展で鳥取県知事賞を受賞、鳥取県代表として、ねんりんピックへ出品されていました。

ねんりんピックで快挙

西村昌敏さんが県知事賞を受賞



百歳体操の仲間同士の貴重な意見交換の場に

地域で「いきいき百歳体操」に取り組んでいる自治会やグループなどに集まってもらい、健康寿命の増進や地域づくりに役立ててもらおうと、11月29日、山村開発センターで研修会が開かれました。

はじめに、日野病院訪問看護ステーションの田中武志さんが百歳体操の効果やストレッチの方法について、実際に体を動かしながら指導しました。

その後、「百歳体操を通して、私または地域が○○になりたい」をテーマにグループワークを実施。「もっと多くの人に広めたい」「いつまでも元気な地域にしたい」など活発な意見が交わされていました。

健康づくりに役立てて

いきいき・かみかみ百歳体操研修会



笑顔で絵馬を受け取る3年生

高校受験を控える地元の中学生に、無事志望校に合格して欲しいと、12月3日、セルプひのが絵馬を贈りました。

絵馬は、同施設の職員と利用者の手作りで、生徒らの合格祈願を込め「大願成就」と大きく書かれています。

日野中学校で行われた贈呈式では、セルプひのの林原所長と利用者が、3年生代表の青戸美咲さん、生田龍二さん、加藤瑞季さん、藤原さくらさんの4人に手渡しました。

林原さんは、「来年の干支は猪。皆さんも目標に向かって一直線に頑張ってください」と激励していました。

激励！夢に向かって猪突猛進

セルプひのが絵馬を寄贈